iDRAC8（INTEGRATED DELL REMOTE ACCESS CONTROLLER 8）WITH LIFECYCLE CONTROLLER

iDRAC8（integrated Dell Remote Access Controller 8）with Lifecycle Controllerは、PowerEdgeサーバの管理者の生産性を向上させ、Dell PowerEdgeサーバ全体の可用性を高めるように設計されています。

iDRAC8（integrated Dell Remote Access Controller 8）with Lifecycle Controllerは、次世代のリモート サーバ管理です。すべてのPowerEdgeサーバに組み込まれているiDRAC8は、さまざまな共通管理機能のために安全なリモート サーバ アクセスを提供します。iDRAC with Lifecycle Controllerは、オペレーティング システムの状態やハイパーバイザの有無に関係なく機能し、構成、OSの導入、ファームウェアのアップデート、稼働状態のモニタリング、メンテナンスなどの包括的なサーバ管理機能を提供します。

リモート アクセスにより、次のようなメリットを得られます。

- **可用性の向上：**潜在的または実際の障害を早期に通知することで、サーバ障害の回避や、障害発生時のリカバリ時間の短縮に役立ちます。
- **生産性の向上と運用コストの削減：**管理者が管理できる範囲をより多くの遠隔地サーバにまで拡大することで、出張などの運用コストを削減しながら、ITスタッフの生産性を高めることができます。
- **セキュリティ：**リモート サーバへ安全にアクセスできるようにすることで、サーバとネットワークのセキュリティを維持したまま、重要な管理機能を実行できます。

エージェント不要の管理

Dellのエージェント不要の管理により、IT管理者は管理体制を強化できます。いったんPowerEdgeサーバに電源が投入されてネットワークに接続されると、システムが目の前にある場合にはUSBキーを挿入するだけで、あるいは離れた場所から、システムを監視して管理できます。ソフトウェア エージェントが不要であるため、IT管理者はオペレーティング システムやハイパーバイザの有無に関係なく、Dellサーバを監視、管理、アップデート、トラブルシューティング、および修正することができます。ゼロ タッチ導入などの機能に加え、iDRAC8 with Lifecycle Controllerによってより多くのリモート サーバにアクセスできるようになるため、ITスタッフの生産性が向上します。

注：従来型の監視技術を引き続き使用されるお客様向けに、Dellは2つの選択肢を提供しています。

- OMSA（OpenManage Server Administrator）：さまざまなバージョンのLinuxおよびWindowsオペレーティング システムで利用できるソフトウェア エージェントです。
- iDRACサービス モジュール：Dellが新たに提供するこの軽量のサービスは、OMSAで実行できるほとんどのタスクを実行できますが、占有領域はかなり小さくなっています。

安全なリモート管理

セキュリティは、iDRACユーザーの最優先事項です。それを踏まえ、iDRAC8のWebインターフェイス、リモートRACADMユーティリティ、WS-MANインターフェイスはすべてTLS 1.2をサポートしています。iDRAC8のWebサーバによって提供されるすべてのWebページは、特に使用しないように設定しない限り、256ビット強度のTLS暗号化で提供されます。また、Dellは、仮想KVM（仮想コンソール リダイレクション）の暗号化とTLSによる仮想メディアをサポートしています。iDRAC8の仮想コンソールとメディアでも、SSL暗号化の利点が活かされます。また、iDRAC8ファームウェアにはデフォルトのセキュリティ証明書が用意されていますが、これはお客様が独自に選択したセキュリティ証明書に置き換えることができます。

ハードウェア管理の自動化

iDRAC8 with Lifecycle Controllerが組み込まれたDell PowerEdgeサーバは、使いやすさに加え、高度な自動化により、「ベア メタル」の導入に最適です。対応する設定で注文すると、Dellサーバに電源を投入して、ローカル ネットワークに接続するだけで導入が開始されます。Dellサーバは、システムをすぐに稼働できるように、サポート対象のオペレーティング システム用のドライバ パッケージが工場出荷時に組み込まれています。iDRAC8 Enterpriseでは、メイン システム ボードなどの交換パーツの自動再設定に対応しているため、インフラストラクチャの保守を効率化できます。組み込みの管理機能により、お客様はファームウェアを含む以前の構成設定をリストアすることができます。

iDRAC8の主な機能

標準ベースの管理自動化	iDRAC8は、業界標準の管理API （IPMI、WSMAN、Redfish）をサポートすることで、拡張性と安全な管理自動化を実現します。スクリプトは、RACADMコマンド ライン インターフェイスと、PythonおよびPowerShellのライブラリを使用して有効化します。
エージェント不要のストレージ管理	ストレージ デバイスは、ストレージ エージェントなしで、iDRACインターフェイスを使用してリアルタイムに構成できます。再起動も必要ないため、システムの可用性が大幅に向上します。OSエージェントが不要なiDRAC経由で、12GbのSASとPCIe-SSDストレージを監視できます。
リストアが簡単	コンポーネントをリプレースすると、Dellサーバがシステム ボードも含め、ハードウェア構成とライセンス情報を自動的にリストアします。構成、サービス タグ、iDRACライセンスとともに、シャーシ内のバックアップを使用することで、ほんの数分でシステムを実稼働に戻すことができます。
iDRAC Direct	フロント パネルのUSB接続を使用して安全にiDRACのWebインターフェイスにアクセスできるので、クラッシュ カートを使用したり、データ センターのホット アイルまで足を運んだりする必要がありません。同じポートにUSBキーを差し込み、新しいシステム プロファイルをアップロードすると、安全かつ迅速にシステムを構成できます。
iDRACクイック同期	無料で提供されているOpenManage Mobileアプリと、サポート対象のNFC対応スマート フォン/タブレットを使用すれば、ほんの数秒でワイヤレスでサーバを監視または設定できるようになります。
リアルタイム ストレージ システム構成	ストレージ デバイスは、ストレージ エージェントなしで、iDRACインターフェイスを使用してリアルタイムに構成できます。再起動も必要ないため、システムの可用性が大幅に向上します。
ゼロ タッチの導入とプロビジョニング	出荷時設定でDHCPが有効になるように注文した場合、PowerEdgeサーバの電源を最初にオンにして、ネットワークに接続したときに、自動的に構成が行われます。このプロセスでは、お客様の仕様に基づいてサーバを確実に構成するために、プロファイル ベースの構成が使用されます。この機能を使用するためには、iDRAC Enterpriseのライセンスが必要です。
エージェント不要のパフォーマンス監視	iDRAC経由で基本的なメモリ、CPU、I/Oのパフォーマンス メトリックを監視します。OSエージェントなしでパフォーマンスを監視できるのは画期的なことです。また、OSや他のすべてのコンポーネントに影響は及びません。それに加え、警告/クリティカル レベルを超えた場合には、SNMP、RACADM、WSmanを介して、カスタマイズ可能な閾値に基づくアラートを表示することができます。

iDRAC8 with Lifecycle Controllerサーバ オプション

	200～500シリーズ ラック/タワーのみ	200～500シリーズのラック/タワー（アップグレード オプション） 600シリーズ以上のラック/タワー（標準） すべてのFXモジュール（FM、FC）	すべてのM1000eブレードとVRTXモジュール
iDRAC8 Basic	✓ 標準	—	—
iDRAC8 Express	✓ アップグレード	✓ 標準	—
iDRAC8 Express for Blades	—	—	✓ 標準
iDRAC8 Enterprise	✓ アップグレード	✓ アップグレード	✓ アップグレード
iDRAC8 Enterprise with vFlash	✓ アップグレード	✓ アップグレード	✓ アップグレード

iDRAC8 with Lifecycle Controllerの機能とライセンス オプション

機能/ライセンス	iDRAC Basic	iDRAC Express	iDRAC Express for Blades	iDRAC Enterprise
サーバ モデル	**200～500シリーズ ラック/タワー サーバ（標準）**	**200～500シリーズのラック/タワー（アップグレード オプション） 600シリーズ以上のラック/タワー（標準） すべてのFXモジュール（FM、FC）**	**すべてのM1000eブレードとVRTXモジュール**	**すべてのサーバ（アップグレード オプション）**
インターフェイス/標準				
DCMI 1.5	✓	✓	✓	✓
IPMI 2.0	✓	✓	✓	✓
NTP（Network Time Protocol）		✓	✓	✓
RACADMコマンド ライン（ローカル/リモート）	✓	✓	✓	✓
SMASH-CLP（SSHのみ）	✓	✓	✓	✓
SSH	✓	✓	✓	✓
Telnet	✓	✓	✓	✓
WebベースのGUI	✓	✓	✓	✓
WS-MAN API	✓	✓	✓	✓
接続				
専用のNIC[2]	✓	✓	✓	✓[2]
DHCP	✓	✓	✓	✓
Dynamic DNS	✓	✓	✓	✓
フロント パネルUSB	✓	✓	✓	✓
IPv4	✓	✓	✓	✓
IPv6	✓	✓	✓	✓
OSパススルー	✓	✓	✓	✓
共有NIC	✓	✓	N/A	✓[1]
VLANタグ機能	✓	✓	✓	✓
セキュリティ				
ディレクトリ サービス（AD、LDAP）				✓
IPブロック		✓	✓	✓
ローカル ユーザー	✓	✓	✓	✓
PK認証		✓	✓	✓
役割ベースの権限	✓	✓	✓	✓
シングル サイン オン				✓
SSL暗号化	✓	✓	✓	✓
2要素認証				✓

機能/ライセンス	iDRAC Basic	iDRAC Express	iDRAC Express for Blades	iDRAC Enterprise
リモート プレゼンス				
起動制御	✓	✓	✓	✓
電力制御	✓	✓	✓	✓
品質/帯域幅制御				✓
リモート ファイル共有				✓
Serial over LAN	✓	✓	✓	✓
仮想コンソール チャット				✓
仮想コンソール連携機能 （最大6人の同時ユーザー）				✓
HTML5、Java、またはActive Xよる 仮想コンソール			✓	✓
仮想フラッシュ パーティション				✓[2.3]
仮想フォルダー				✓
仮想メディア			✓	✓
OSへのVNC接続				✓
電力および温度				
電力カウンタ履歴		✓	✓	✓
電力上限				✓
Power Center統合				✓
電力閾値とアラート		✓	✓	✓
リアルタイムの電源グラフ		✓	✓	✓
リアルタイム電源メーター	✓	✓	✓	✓
電源グラフ		✓	✓	✓
温度監視	✓	✓	✓	✓
正常性監視				
設定可能な閾値	✓	✓	✓	✓
CPU監視	✓	✓	✓	✓
電子メール警告		✓	✓	✓
ファン監視	✓	✓	✓	✓
完全なエージェントフリーの監視	✓	✓	✓	✓
HD監視（エンクロージャ）	✓	✓	✓	✓
メモリ監視	✓	✓	✓	✓
NIC監視	✓	✓	✓	✓
帯域外パフォーマンス監視				✓
電源装置監視	✓	✓	✓	✓
障害の予測監視	✓	✓	✓	✓
RAID、HBA、およびNVMeストレージ監視	✓	✓	✓	✓
Redfish Eventing	✓	✓	✓	✓
SNMPv1、v2、およびv3（トラップおよび取得）	✓	✓	✓	✓
WS-MANイベント	✓	✓	✓	✓
アップデート				
自動アップデート				✓
組み込みアップデート ツール	✓	✓	✓	✓
リモートでのエージェント不要なアップデート	✓	✓	✓	✓
リポジトリとの同期 （スケジュールされたアップデート）				✓

機能/ライセンス	iDRAC Basic	iDRAC Express	iDRAC Express for Blades	iDRAC Enterprise
導入と設定				
自動検出		✓	✓	✓
組み込みドライバ パック	✓	✓	✓	✓
組み込みOS導入ツール	✓	✓	✓	✓
完全な設定インベントリ	✓	✓	✓	✓
インベントリ エクスポート	✓	✓	✓	✓
プロファイル ベースの構成	✓	✓	✓	✓
リモートでのOS導入	✓	✓	✓	✓
システムの廃棄/転用	✓	✓	✓	✓
ゼロ タッチ設定				✓
診断、サービス、およびロギング				
起動キャプチャ				✓
クラッシュ スクリーン キャプチャ		✓	✓	✓
クラッシュ ビデオ キャプチャ[4]				✓
簡単なリストア（システム設定）	✓	✓	✓	✓
組み込み診断ツール	✓	✓	✓	✓
組み込み正常性レポート（SupportAssist）	✓	✓	✓	✓
正常性LED/LCD	✓	✓	✓	✓
iDRAC Direct（前面USB管理ポート）	✓	✓	✓	✓
iDRACサービス モジュール（iSM）	✓	✓	✓	✓
ライセンス管理	✓	✓	✓	✓
Lifecycleログ	✓	✓	✓	✓
iDRACの手動リセット	✓	✓	✓	✓
OSウォッチドック[4]	✓	✓	✓	✓
部品交換		✓	✓	✓
Quick Sync（NFCベゼルが必要）	✓	✓	N/A	✓
リモートSyslog				✓
サーバ設定のバックアップ				✓
サーバ設定のリストア	✓	✓	✓	✓
システム イベント ログ	✓	✓	✓	✓
仮想NMI	✓	✓	✓	✓
作業メモ	✓	✓	✓	✓

[1]ブレード サーバでは利用できません。[2]500シリーズ以下のラックおよびタワー サーバでは、この機能を有効にするためにハードウェア カードが必要です。このハードウェアは追加料金で提供されています。[3]vFlash SD カード メディアが必要です。[4]iSM（iDRACサービス モジュール）またはOMSA（OpenManage Server Administrator）が必要です。

OpenManageポートフォリオ

iDRAC with Lifecycle Controller（LC）は、システム管理のツール、ソリューション、テクノロジーのOpenManageポートフォリオの一部です。iDRAC with LCにより、ライフサイクル管理のすべての段階（導入、アップデート、監視、およびメンテナンス）で、管理を自動化して合理化できます。固有のニーズに合わせて簡単にカスタマイズできる効率的で直感的なDell OpenManageツールにより、重要な資産のパフォーマンス、生産性、可用性を高められます。ほとんどのサード パーティの管理プラットフォームとの統合および接続が可能であるため、Dell OpenManageを搭載したDellサーバは、さまざまなIT環境にすばやく適応します。

推奨サービス

プロサポートプラスとSupportAssistを組み合わせると、重要なシステムのために予測型のサポートが提供されます。プロサポートでは、包括的なハードウェアおよびソフトウェアのサポートを提供します。ProDeploy Enterprise Suite導入サービスを使用すれば、1日目からテクノロジーをさらに活用できます。詳細については、Dell.com/itlifecycleservicesを参照してください。

エンド ツー エンドのテクノロジー ソリューション

ITとビジネスのソリューションの有効活用は、ITをシンプルにし、コスト削減、さらに効率化につながります。パフォーマンスを最大限に引き出し、連続稼働時間を延長するエンド ツー エンドのソリューションなら、Dell EMCにお任せください。サーバ、ストレージ、ネットワーキングの実績あるリーダーであるDell EMC Servicesが、あらゆる規模の革新をお手伝いいたします。Dell Financial Services™では、コスト節約や運用効率の向上をご検討のお客様向けに、テクノロジーを簡単かつ低価格でご利用いただけるプランを各種ご用意しています。詳細については、Dellの営業担当までお問い合わせください。*

詳細については、Dell.com/OpenManageをご覧ください。

* Dell Financial Services L.L.C.、またはその関連会社もしくは承認者（「DFS」）が適切なお客様に対して、リースと資金調達の提要とサービスを実施します。サービスは一部の国で提供されない場合があります。またはサービス内容が異なる場合があります。利用可能な地域の場合、サービスは予告なく変更される場合があり、製品の在庫状況、クレジット承認、提供文書の執行、およびDFSの承認により変わることがあります。さらに最小取引規模に応じて異なる場合があります。このサービスは個人、家族、または家庭での使用には適用されません。

Copyright © 2016/12/6 Dell Inc. その関連会社。All Rights Reserved.（不許複製・禁無断転載）